

ORACLE

Developer Days

未来を創造する最新テクノロジーを今、あなたの手に。

Oracle Database Technologyの進化 とセッションの見どころ紹介

中山 厚紀

日本オラクル株式会社



#OraDevDays

Why Cloud?

作らずに、すぐ役立つ!

様々な体験が

標準化

機械学習

地図

スマホ

AIおすすめ

情報検索

最短経路

AI 次の
購入可能性

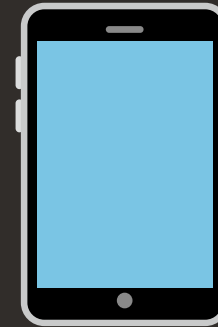
3km以内の
お客様

5 駅以内

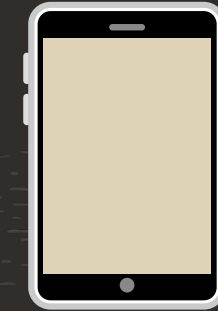
顧客

購入履歴

商品



外回りの
営業さん向け
確度の高いお客様に
確度の高い商品ご提案を



ごひいき様向けメール
欲しかったもの
あなたの通勤圏路の
お店にあります

AI 次の
購入可能性

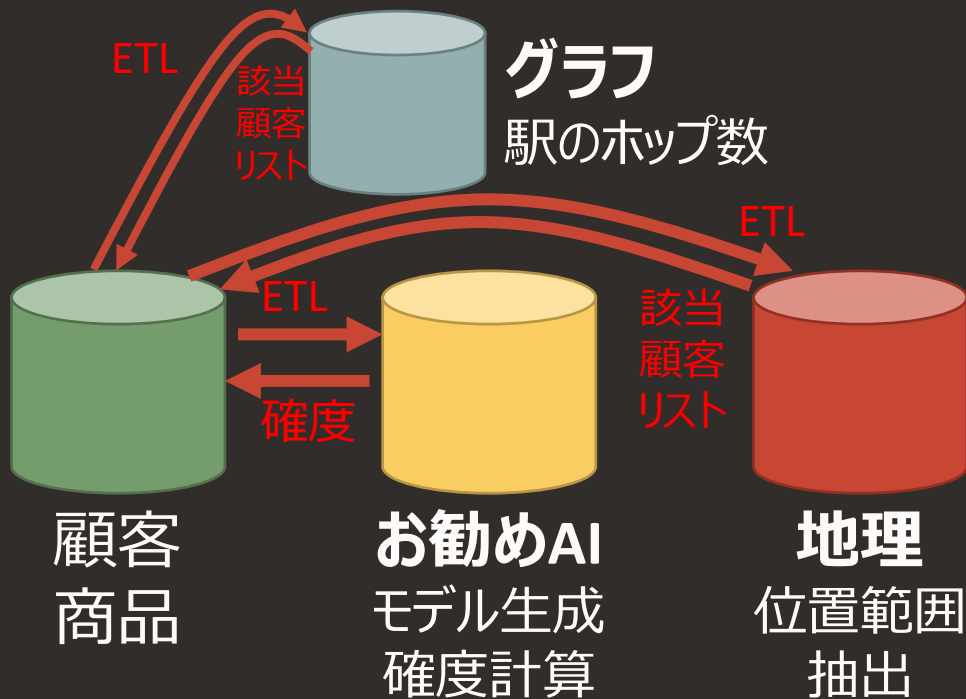
3km以内の
お客様

5 駅以内

アプリ

利用者はハッピー!

しかしデータの一貫性が課題に...



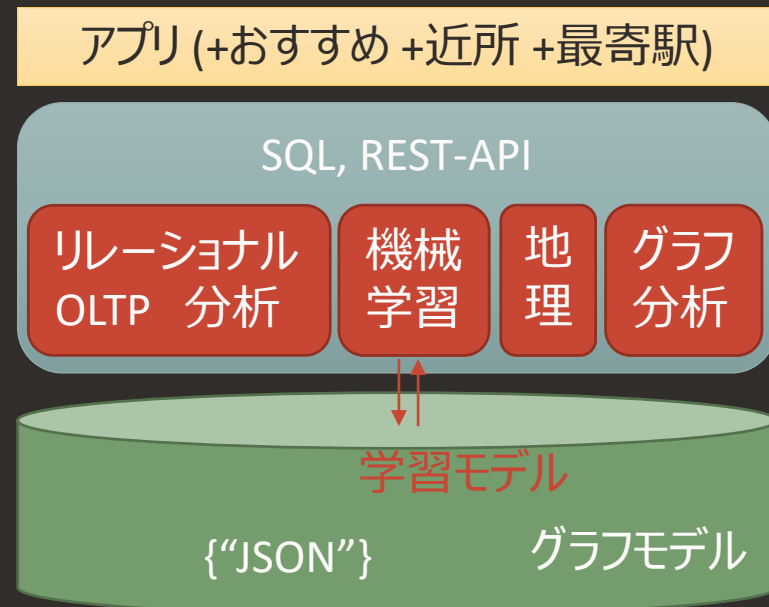
「確度が高いので行ってみた。そしたら
すでに引越されていた...」

「もう買ったのに、
また おすすめが出てきたわ...嫌ね」

AI 次の
購入可能性

3km以内の
お客様

5 駅以内



顧客、商品、在庫、購入履歴

利用者もハッピー！ 開発者もハッピー！

データの一貫性を解決。
漏洩対策も拡張性もシンプルに。

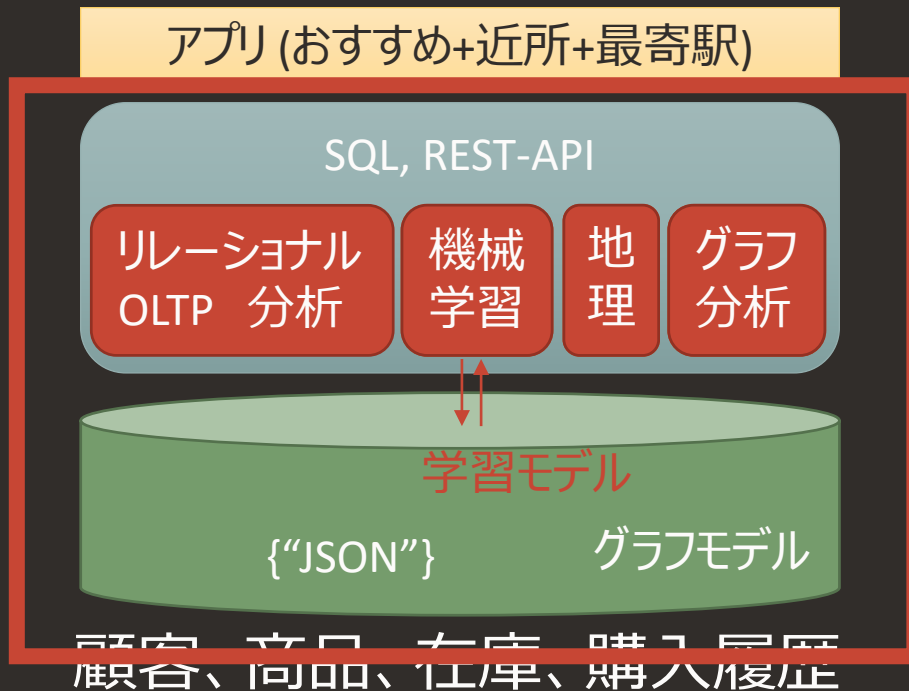
オラクルの集約型、コンバインド・データベースの方針

SQLで
アイデアを
作りこみなしで
すぐ実現できる

AI 次の
購入可能性

3km以内の
お客様

5 駅以内



今日の最初のセッションは

← ココの話

オラクルの集約型、コンバースド・データベースの方針

ORACLE

Developer Days

未来を創造する最新テクノロジーを今、あなたの手に。



柴田 長

Oracle Corporation

データの価値を引き出すアプリ開発を実現する Oracle Databaseの最新テクノロジー

デジタル・トランスフォーメーションへの取り組みが進み、データの価値を効果的に引き出すアプリケーション開発が強く求められる時代にOracle Databaseはどのように活用できるのか。

データベースが多様化、複雑化していく中で、より速く、よりシンプルなアプリ開発を実現するためのConverged Databaseを構成する技術をピックアップしてお届けします。

2020年12月17日（木） 14:10 – 14:50



#OraDevDays

AI 次の
購入可能性

3km以内の
お客様

5 駅以内



顧客、商品、在庫、購入履歴

次の セッションは

← ココの話

アプリも作りこみなしで
アイデアをすぐ実現できる

オラクルの集約型、コンバインド・データベースの方針

ORACLE

Developer Days

未来を創造する最新テクノロジーを今、あなたの手に。



中越 祐治
Oracle Groundbreakers
Advocate

アイデアからアプリケーションへ、 光の速度で実現する環境

こんなアプリケーションがあれば作業を効率的に行えるのに、というアイデアがあっても作業の締め切りまでに開発が間に合わない、アプリケーションを作るスキルを身につける時間がとれない。

この繰り返しから抜け出すために、最小限のスキルによる超短期開発を行える Oracle APEXについて、デモンストレーションを中心に紹介します。

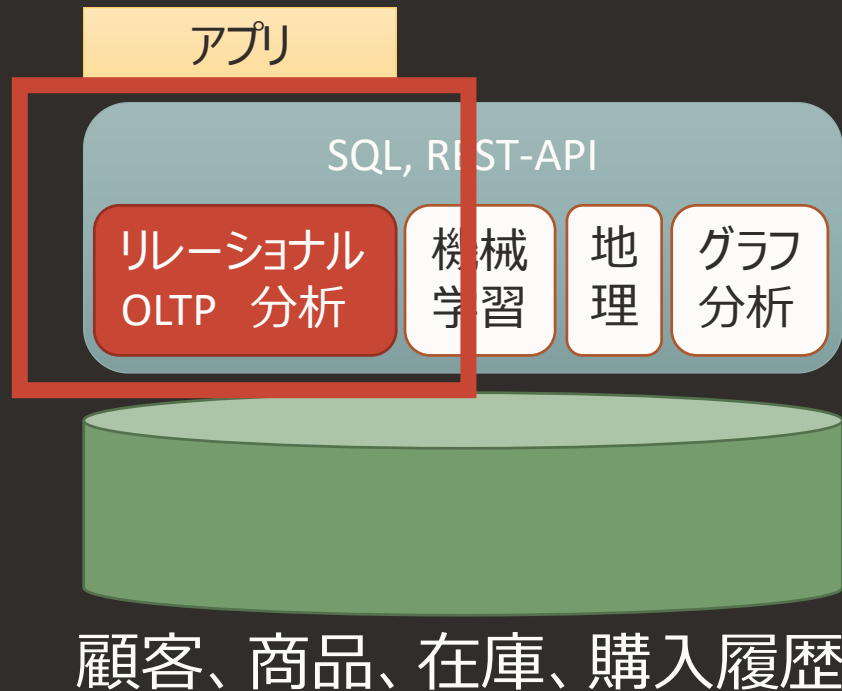
2020年12月17日（木） 15:00 – 15:40



#OraDevDays

締めの セッションは

← OLTP & 分析の話



1000倍高速化!?

ORACLE

Developer Days

未来を創造する最新テクノロジーを今、あなたの手に。



稲垣 大助

Principal Solution
Engineer, MySQL GBU

Oracle Cloud Infrastructureで MySQL Database Serviceが登場！

MySQL Database Service (MDS) は、Oracle Cloud Infrastructure (OCI) 上で簡単に利用でき、コストパフォーマンスの高いフルマネージド・データベース・サービスです。

すでに発表されているアメリカ、ヨーロッパに続き、
9/24より東京リージョンでもいよいよ利用可能になりました！！
Oracleだから提供出来るMySQLデータベースサービスをご確認ください。

2020年12月17日（木） 15:50 – 16:30



#OraDevDays

Oracle Database 21c

オラクルエンジニア通信では、オンプレミスからクラウドまで、オラクル
テクノロジーの最新情報をお届けします

Try Oracle Cloud Platform For Free



2.コラム

December 15, 2020



Oracle Database 21cのご紹介



Yusuke Yamamoto

※本ページは、"Introducing Oracle Database 21c"の翻訳です



世界で最も人気のあるデータベースの最新InnovationリリースであるOracle Database 21cは、



データドリブンな未来を実現する

オラクルは一貫して、データを複数の単一目的エンジンに分割して利用するよりも、集約型の**コンバージド・データベース**にデータを格納して管理の方が効率的で生産性が高いというアプローチをとってきました。簡単に言えば、コンバージド・データベースとは、マルチモデル、**マルチテナント**、マルチワークロードのデータベースのことです。Oracle Databaseは、様々なデータ・モデルとアクセス方法を完全にサポートし、分離性を確保しながら統合を簡素化し、運用と分析の両方の典型的なデータベース・ワークロードのユースケースに優れています。以下の画像をクリックすると、オラクルのコンバージド・データベースの紹介ビデオをご覧ください。





Oracle Database 21cの新機能

この最新のInnovationリリースには、データベースのユースケースをさらに広げ、開発者、アナリスト、データ・サイエンティストの生産性を向上させ、クエリ・パフォーマンスを向上させる多くの新機能と機能強化が導入されています。以下は、Oracle Database 21cの新機能の一部です。より包括的なレビューについては、『[新機能ガイド](#)』または『[Database Features & Licensing App](#)』を参照してください。または、[オンライン・ハンズオン「Oracle LiveLabs」](#)の[新機能ワークショップ](#)で[Oracle Database 21cのツアー](#)に参加することもできます。

ブロックチェーン表

ブロックチェーンは、トランザクションの安全性にまつわる様々な問題を解決するため、技術的な検証を可能にしています。この技術の企業への導入はかなり前進しつつある一方で、まだいくつか課題が存在しています。最も大きい課題は、分散型台帳をサポートするアプリケーションの構築が複雑であることです。Oracle Database 21cでは、[ブロックチェーン表](#)を導入し、この課題に対処しています。この表は通常のヒープテーブルと同じように動作しますが、大きく異なる点がいくつかあります。最も注目すべき点は、テーブルに挿入された行が暗号化されハッシュ化されることで、後から行を変更できないようになっていることです。

ORDERS TABLE

ID	User	Value	Hash
1	Tom	500	ADSJS
2	Carol	176	%SHS
3	Steve	500	SH@1
4	John	176	DHD3
5	Mike	332	*EGG





Oracle Database 21c トピック

ブロックチェーン表

機械学習(ML)アルゴリズム

インメモリ列ストア
自動管理

シャーディングの機能強化

ネイティブJSONデータ型

自動ゾーン・マップ

PMEM

最適化されたグラフ・モデル

SQLマクロ

AutoML

JavaScript実行
(データベース内)

インメモリ ハイブリッド 列スキャン

インメモリ・ベクタージョイン

ORACLE